



待ったなし！！ 業務のデジタル化 「家庭と学校の連絡」アンケート調査結果

回答数 小学校 324/339校 中学校 131/146校
全473校 高等学校 10/11校 特別支援学校 8/13校

4月末に「家庭と学校の連絡」について、①「児童・生徒の出欠確認」②「アンケートや回収の必要な手紙等の配付」③「学校だより等のお知らせの配付」それぞれの連絡方法の状況について、調査した結果を報告します。

	ICT を活用した割合
児童・生徒の出欠確認	25.3%
アンケートの回収の必要な手紙等の配付	54.1%
学校だより等のお知らせの配付	23.9%

本市が正式に導入しているロイノート・スクール(以下ロイロ)や Google Workspace for Education Fundamentals(以下グーグル)の利用率は、**ロイロ 5.7% グーグル 5.4%** でした。

ここに働き方改革のカギが！！
学校内の業務でも使いこなせます。

でも、GIGA 端末を授業での活用を始めたばかりなのに、そっちまで手が回らないよ。

それはよくわかるよ。でも、ここをチャンスとしてとらえて ICT の活用により、先生たちのたくさん業務を効率よく負担軽減していきたいんだ。例えばこんな風に使えよ。

アンケートの回収（生徒アンケート）業務 中学校（18クラス）実践例

生徒会から全校アンケートを取ることに決まったとある中学校。初めて GIGA 端末の活用に挑戦してみたら、次のようになりました。

今までは...	ICT 活用後	効果
①アンケートの作成...約30分 ②全生徒分アンケートを印刷...約15分 ③各クラスに配付...約1分 ④クラスで担任の先生が配付。約1分 ⑤生徒がアンケート記入...約10分 ⑥クラスで担任の先生が回収...約2分 ⑦担任の先生が集計...約10分 ⑧アンケートのデータを集約...約30分 ⑨アンケート結果を作成...約30分 ⑩生徒に結果を配付...約10分	①Google classroom で作成...約30分 ②全生徒分アンケートを印刷。 ③各クラスに配付。 ④クラスで担任の先生が配付。 ⑤生徒が Chromebook で入力し、回答...約10分 ⑥クラスで担任の先生が回収。 ⑦担任の先生が集計 ⑧アンケートの回答結果を確認...約10分 ⑨アンケート結果を作成。 ⑩生徒が classroom で結果を確認...約10分	紙印刷なし 配付なし 集計作業なし 作業時間 約 55% 削減
約 139分 先生: 119分 生徒: 20分	約 60分 先生: 40分 生徒: 20分	

※Google の活用情報は、「横浜市における GIGA スクール構想」関連ポータルサイト⇒ こちらから

※スマイル通信を毎月、個人メールへお知らせが届くことを希望する方は、簡易集計システムに必要事項の登録をしてください。⇒ こちらから

庶務事務システムで1か月の時間外勤務時間をチェック !!!

管理職



照会 → 帳票・データ出力 → 帳票作成
→ 服務/個人別出退勤情報 (月間)

教職員



庶務事務トップ画面右上の
「勤務状況照会」ボタンをクリック

令和3年度も
教職員の声
教育委員会事務局に届きます!

二次元
コード

URL:

学校の取組や新たなアイデアなどお寄せください。